

気象庁が発表する注意報及び警報基準

①大雨・洪水

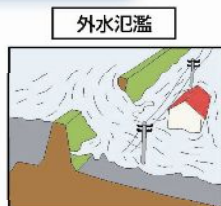


②強風(風雪)及び暴風(暴風雪)



※風に関する注意報及び警報については、10分間平均風速  
※発表基準については、平成18年3月現在

いろいろな氾濫



大雨が降ると川の水位があがり、堤防が崩れるなどして、大量の川の水が町や農地などにあふれ出し、氾濫します。



大雨が降ると川の水位があがり、低地部では雨水などが排水されず水路などにあふれ出し、氾濫します。



大雨が降ったとき、道路の側溝がつかまったり、道路の低くなっているところに水がたまったとしても、氾濫は起こりません。

雨の降り具合で洪水の危険度をチェックしよう！！

やや強い雨 (1時間に10～20mmの雨)	強い雨 (1時間に20～30mmの雨)	激しい雨 (1時間に30～50mmの雨)	非常に激しい雨 (1時間に50mm以上の雨)
ザーザーと降る雨。地面一帯に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。	傘をさしていても濡れてしまうほどのどしゃぶりの雨。町内では、このくらいの雨が頻くと、一部道路冠水や床下浸水がおこります。	バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになり、町内では、小河川の氾濫や道路損壊がおこります。かけ崩れもおこりやすくなります。	滝のように降る雨。町内では土石流等がおこりやすく、河川の氾濫をはじめ多くの災害が発生するおそれがあります。

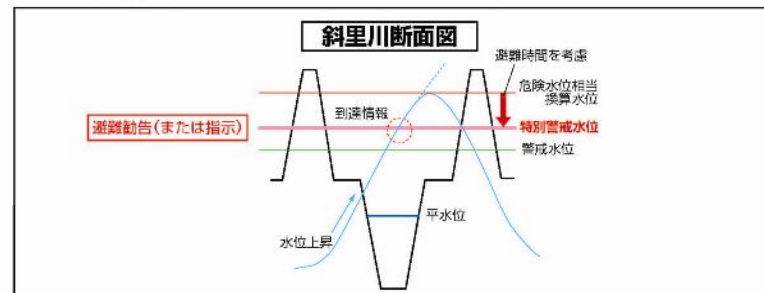
風の強さで風害の危険度をチェックしよう！！

平均風速(毎秒)	予報用語	人への影響と建造物の被害
10m以上～15m未満	やや強い風	風に向かって歩きにくくなる。取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。
15m以上～20m未満	強い風	風に向かって歩けない。転倒する人も出る。ビニールハウスが壊れ始める。
20m以上～25m未満	非常に強い風(暴風)	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。
25m以上～30m未満		立ってられない。屋外での行動は危険。ブロック塀が壊れ、取り付けの不完全な屋外装材がはがれ飛び始める。
30m以上～	猛烈な風	屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。

斜里川における避難勧告(または指示)の発令基準水位

斜里川は水位情報周知河川に指定されており、避難行動を起こす目安となる特別警戒水位が設定されています。斜里町では水位観測所の水位をもとに、特別警戒水位に達し、なお水位上昇が見込まれる場合に避難勧告(または指示)を発令します。

※水位情報周知河川…洪水予報河川以外の河川のうち、洪水により国民経済上重大または相当な損害を生じる恐れがある河川で、特別警戒水位を定めて、この水位に到着した旨の情報を出す河川。



危険水位相当…洪水により相当の家屋浸水等の被害を生ずる氾濫が起こる恐れがある水位。  
特別警戒水位…降雨の状況などによっては危険水位を超えることが予想され、避難行動を起こす目安となる水位。  
警戒水位…災害が起こる可能性を示す水位。